

「逍遙とシェイクスピア～世界はすべて劇場である～」展

(1) 趣 旨

2007(平成 19)年 4 月、美濃加茂市と早稲田大学は文化交流協定を締結しました。文化交流を通じて、相互の発展と地域社会の活性化に寄与することを目的としており、今回の展覧会は両者が共催という形をとって実施する初めての事業でした。



今回の展覧会では逍遙が創設した早稲田大学坪内博士記念演劇博物館が所蔵する自筆原稿や著書などの資料を中心に、その偉大な足跡を紹介しました。展示資料には、逍遙が初めてシェイクスピア作品を翻訳した『自由太刀余波鋭鋒』、亡くなる間際の病床で校正をした『新修シェークスピア研究栞』の校正原稿など貴重な資料約 120 件を展示しました。

(2) 会 期 2007(平成 19)年 12 月 15 日(土)～2008(平成 20)年 1 月 20 日(日)<25 日間>

(3) 会 場 企画展示室

(4) 観覧料 無料

(5) 関連事業

①ミュージアムフォーラム

「逍遙とシェイクスピア～翻訳と研究・上演と朗読の全体像を求めて～」

荒井良雄氏によるシェイクスピア原書の朗読や逍遙が翻訳した作品について、身振り手振りを交えながら熱のこもった講座でした。

《2008(平成 20)年 1 月 12 日(土)14:00～14:30／会場：緑のホール／参加料：無料／講師：荒井良雄氏(駒澤大学名誉教授)》

②ミュージアムトーク 展示解説

当館学芸員が資料の解説を行いました。

《2007(平成 19)年 12 月 15 日(土)11:00～12:00,14:00～15:00、2008(平成 20)年 1 月 12 日(土)11:00～12:00／会場：企画展示室／参加料：無料》